

平成30年度 公の施設目標管理型評価書【音楽文化会館】

施設名	新潟市音楽文化会館				
管理者名	(公財)新潟市芸術文化振興財団	指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成31年3月31日		
新潟市主管課	新潟市文化スポーツ部文化政策課				
所在地	区名	中央区	住所	一番堀通町3番地2	
根拠法令	—				
設置条例	新潟市音楽文化会館条例				
施設概要	設置：昭和52年11月 施設規模：鉄骨鉄筋コンクリート造、延床面積6,462.3㎡ 施設内容：ホール（525人＋車椅子5人） 練習室（13室） 料金区分：午前、午後、夜間、全日の区分で場所ごとに料金を設定している。				

施設設置目的
音楽、舞踊、演劇等の芸術文化活動の普及振興を図り、明るく豊かな市民生活の形成に資する。

管理・運営に関する基本理念、方針等
1 理念 新たな音楽愛好者を育てていくことを通じて、日常生活の中に音楽が息づく心豊かなまちづくりを行う 2 期待される機能 舞台芸術の振興や芸術文化活動の普及振興といった本質的な機能に加え、積極的な活動を通じて、都市の魅力を高めることや、良好な都市イメージを発信することによる、交流人口の拡大、経済波及効果の増大などの発展的機能も期待されています。 3 基本的使命 ① 市民の文化活動への支援 ② 文化を支える人材の育成 ③ 地域に根ざした文化創造

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	1 基準利用者数の達成	年間利用者数178,000人以上	152,338人	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
	2 基準稼働率の達成	ホール稼働率 74.0%以上	70.5%	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
	3 貸館利用者(主催者)満足度	貸館利用者の満足度調査で、90%以上	99.6%	A	高い満足度を達成しており、評価できる。
	4 貸館利用者の意見やニーズを聴取するしきみの有無	実施していること		A	利用者の意見を聴取しやすいシステムとなるよう工夫が見られ、評価できる。
	5 貸館利用者に対するサービスの提供	対応マニュアルを設置し、利用者の安全と満足度を意識したサービスの提供をしているか。		B	
	6 ホスピタリティに関する取り組み	職員にホスピタリティ向上の必要性を徹底するとともに、利用者側に立ったサービスの提供をしているか。		A	ホスピタリティ向上の為に様々な取り組みを行っている点が評価できる。
財 務	1 経費の削減	指定管理料(管理経費・事業費補助)を年度協定額及び交付決定額以下に抑える。	予算120,719千円決算120,684千円	B	

業 務	2	市の歳入の増加	使用料収入 22,920千円以上	22,185千円	C	より一層の改善に励まれ、指標の達成を望む。
	1	長期的な視点にたった管理施設の保全	長期修繕計画の作成し、必要に応じて見直しを行う。	平成30年度までの計画が終了。	B	
	2	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	連絡体制の確立	緊急連絡網の整備 消防訓練2回 (6/11,10/30)	B	
	3	事件・事故発生時の対応の適切さ	AEDの使用方法的周知徹底	講習会1回(10/16) AEDの使用はなし	B	
	4	日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	毎月10日までに提出	B	
	5	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書を翌年度4月30日までに提出	4月30日までに提出	B	
	6	改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応する。	改善勧告等は特になかった。	B	
	7	運営方針、事業目標の位置づけ	自館の設置目的、基本的使命が、運営の指針となっているか。	文化政策の一環として位置付けた独自の運営方針があり、達成目標が明確である。	B	
	8	運営方針、事業目標の市民への公開	運営方針をホームページに掲載し、評価のためのアンケートを実施しているか。	施設の運営方針は、HPに掲載している。市民の意見や運営改善、評価のためにアンケートを実施している。	B	
	9	運営方針、事業目標に関する自己評価等の有無	自館の設置目的、基本的使命に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業改善に役立てているか。	施設の運営方針に基づいて、事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業企画や運営の改善に役立てている。	B	
	10	運営方針を実現するための経営戦略の有無	市と定期的なミーティングを行い、経営戦略の見直しに取り組んでいるか。	施設の運営方針は、HPに掲載している。市民の意見や運営改善、評価のためにアンケートを実施している。	B	
	11	個人情報保護に関する実施の有無	実施していること	財団内に個人情報保護規定があり研修が実施されている。 (3/28・29)	B	
	12	当該施設の管理に関する関係法令の遵守	コンプライアンス研修の実施	コンプライアンス研修の実施(3/28・28)	B	
13	守秘義務の徹底	守秘義務違反に該当する問題がないこと	守秘義務違反に該当する問題はなかった。	B		
人 材	1	専門性の高い人材の配置、育成	館の各業務に必要な専門的知識や技能、経験、資格等を備えた職員を配置すること	全国公文協研究大会 参加 公益法人会計セミナー 参加 建築物環境衛生研修会 参加 廃棄物管理講習会 参加ほか	A	適材適所の人員配置を行い、研修等の参加により職員のスキルアップや育成に努めている点が評価できる。
	2	職員のスキルとモチベーションの向上	内部研修を行い、必要に応じて、外部研修を利用しているか。	財団職員研修会(外部講師)	A	
	3	労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	労働基準違反に関する事例はなかった。	B	

総 合 評 価 (所 見)

・貸館利用者(主催者)満足度については、引き続き99%を越え非常に高く、目標を達成したことを高く評価する。しかし、利用者数、ホール稼働率、使用料収入は目標を下回っており、今後は、更なる利用者増加及びホール稼働率アップに向け、尽力いただくとともに、PR魅力ある施設づくりを実現し、更なる歳入の増加を期待する。

評価水準

- A 要求水準=(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準=(評価指標)が達成されている。
- C 要求水準=(評価指標)が達成されていない。